

## 令和4年度 第1回釜石市立平田公民館運営審議会開催結果

1 日 時 令和4年5月19日（木）午後2時～午後3時  
2 場 所 平田集会所 2階 大会議室  
3 出席委員 7名  
佐藤雅彦委員、佐々木淳子委員、鈴木崇委員、小松美香委員、  
福田博委員、高澤友子委員、久保修一委員  
4 欠席委員 なし  
5 事務局等 3名  
まちづくり課：佐々木薰主幹、浦城太郎主任  
平田公民館：小笠原達也館長  
6 傍聴者 なし  
7 経 過  
(1) 開会  
・小笠原館長が定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言した。

### (2) まちづくり課長（代理：佐々木主幹）挨拶[要旨]

- ・本日は令和4年度の運営方針や目標、計画等について、ご審議いただく。忌憚のないご意見をお願いしたい。
- ・4月当初から既にヨガ教室やHEITAシアターなどサロン事業は実施されている。また、今年度から小中学校にコミュニティ・スクールが設置され、地域と学校が協働して、子どもたちを育む体制の整備が進んでいる。
- ・釜石保健所管内の感染者数は増加しており、先日は釜石市役所職員も感染した。依然としてコロナの感染状況は懸念される。  
今のところ、公民館の利用制限、事業制限は設けられていないが、今後の状況によっては延期や中止といったこともあり得る。  
三密を避け、基本的な感染症対策をした上で様々な事業を実施していくことになると思う。

### (3) 出席者紹介

- ・小笠原館長が出席委員を紹介した。

### (4) 委員長及び副委員長の互選

- ・立候補または推薦を求め、委員長に佐藤雅彦委員を、副委員長に佐々木淳子委員を推薦する声があり異議なく了承された。

### (5) 協 議

- ①令和4年度平田公民館運営方針及び事業計画について  
・小笠原館長が資料に基づき説明し、その後、意見交換を行った。

②その他

特になし

(6) 閉会のことば

- ・小笠原館長が閉会を宣言した。

## 8 委員の主な発言等

〔意見〕昨年度は「つながるカフェ」で園児と地域住民の交流をさせてもらった。またコロナ感染拡大以前はこども園を会場にして、お月見会やふれあい体操などを地域住民と一緒に取組んだり、公民館まつりの際に公民館で平田っ子虎舞を披露したりした。

コロナ感染が続いている状況だが、今年度も地域の方とふれあう事業を行いたい。その際には公民館につなぎ役をしてもらえば助かる。

また昨年度、寄附していただいた雑巾も役に立っている。

〔意見〕とても多くの自主活動グループが継続していることは素晴らしい。自分も体操の活動グループに参加している。参加者は皆楽しみにしてくれている。

〔意見〕可能であれば自主活動グループの代表者を提示してもらえると参加を検討している方にとっていいのではないか。検討してみてほしい。町内会名簿も情報提供には依頼文書が求められるなど以前に比べて管理が厳しくなっている。

〔回答〕個人情報関連の規定により、掲載する代表者本人の了解が必要となる。

〔意見〕公民館の職員数が減ったようだが、今年度も開催事業数が多いようだ。業務の対応として不都合はないか。また保健師は釜石センターとの兼務と聞いた。釜石地区も業務量は多いと思われるが、支障はないか。

〔回答〕限られた人材ではあるが、工夫しながら取り組んでいる。今後も遺漏が無いように心がける。

なお、震災直後から公民館事業を担当していた職員、コミュニティ支援員が昨年度末に退職したが、今年度は体育協会に委託しており、サービスの質・量が下がらないよう取り組む予定。

〔意見〕昨年度、食生活改善推進員協議会や保健師などとコラボして、リンパマッサージ、食事指導などのサロン事業を行った。今年度も継続して取り組みたい。

〔意見〕昨年度は情報モラル事業、プログラミング学習で大変お世話になった。本来であれば学校で連絡調整する必要があるところ、つなぎ役になつていただき助かった。今年度も引き続きコロナ感染状況により厳しいが、公民館を母体として地域住民の方との世代間交流に取組みたい。

〔意見〕2階建ての公民館は他にあるか。催事の際に老人の上がり下がりが大変なようだ。以

前、平田公民館で地域の敬老会を行った際に年配の参加者が階段から落ちたことがあった。

[回答]今年度、補助事業により昇降機が設置される予定であり、状況は改善されると思われる。